

森に寄り添って生きのびるチカラ

TOGA森の暮らし塾2018 Vol.3




I. 「暮らしの中の木をきわめる・・・」

長谷川益夫氏（職藝学院）

日時：11/24 Sat. → 25 Sun.

場所：利賀創造交流館と利賀村の森



II. 「薪で暮らす・・・」

奥敬一氏（富山大学芸術文化学部）

スケジュール

24日

- 11:00～ オリエンテーション
- 11:20～ 「多様な木材とその特性」
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 「多様な木材とその特性」
- 16:15～ 山村とエネルギー
- 17:45～ 休憩・入浴
- 18:40～ 夕食
- 18:15～ 夜の語り部
「利賀村の山の利用」
- 20:00～ 懇親会&フリートーク
- 22:00 消灯

25日

- 07:00～ 朝食
- 08:00～ 木材標本づくり
- 12:00～ 昼食(森ごはん)
- 13:30～ 振り返り
- 14:30～ 終了・解散

(一社)TOGA 森の大学校 0763-68-2177
<http://www.toga-morinoac.jp> moribio@hotmail.co.jp

受講料：5,000円（別途 宿泊費・食費）
部分参加も可能 お気軽にお問合せください。

イヌワシやクマタカが飛翔する、利賀村の豊かな森を舞台に

森で暮らしていくための、

四季折々の知恵と技術

縄文時代から連綿と続くブナやミズナラと調和した

暮らしの中で受け継がれてきた

採る、捕らえる、喰う、伐る、刻む、編む・・・

森に寄り添って、生きのびるチカラ



長谷川益夫（はせがわますお）

職藝学院職芸基礎研究センター 特任教授

専門は木材保存学・木材組織学。全国規模で木材の耐久性を研究するとともに、多様な木材を収集・調査。文化財等の木材識別の第一人者。

奥敬一（おくひろかず）

富山大学芸術文化学部 准教授
専門は風景学。里山や農山村を中心とした文化的景観の保全と地域資源の利用について研究している。

11月の森の暮らし塾

I. 「暮らしの中の木をきわめる」

講師 長谷川益夫氏

森を構成する多様な樹種。それぞれの樹が、それぞれの個性を持って、様々な形で利用されています。長年、富山県木材研究所で研究してこられた長谷川先生の解説で、いろいろな樹種の特徴をきわめましょう！

II. 「薪で暮らす」 講師 奥敬一氏

「薪」は、太陽の光を受けて生態系が育む、山村で暮らしていくうえで、最も重要なエネルギー。暮らしの中で薪を使いこなせば、山村ライフが充実すること間違いなし！

夜の語り部 宮崎道正氏

今回の語り部は、長年、利賀村の村長を務めてこられた宮崎道正さん。森林組合の事業やキノコ作りを通して見えてくる利賀の山の歴史を語っていただきます。乞うご期待！